



令和6年4月1日
日本下水道事業団

下水道BIM/CIMライブラリの始動
～BIM/CIM活用の本格化に向けて～

(概要)

日本下水道事業団（JS）では、BIM/CIM活用をさらに推進するために、下水道BIM/CIMライブラリを始動します。

日本下水道事業団（JS）は、「DX推進基本計画」に基づき、令和8年度にBIM/CIM活用の全面適用を目指しています。現在、受託プロジェクトにおけるBIM/CIM活用方法をまとめた「下水道BIM/CIM活用方法(第1版)」に基づいて、BIM/CIM活用を試行しています。

現在、市販されているBIM/CIMソフトウェアには、下水道特有の機器や配管等の部材が実装されていないため、これら部材の3次元モデルの作成に労力を要しています。

JSは、BIM/CIM活用をさらに推進するため、下水道で標準的に使用する部材のモデル化に必要な形状や属性の情報（オブジェクト）を集約し、下水道関係者が共有できる「下水道BIM/CIMライブラリ」を構築しました。また、ライブラリに蓄積するオブジェクトの作成ルールやライブラリの運用ルールを「下水道BIM/CIMオブジェクト標準」としてとりまとめました。

なお、ライブラリとオブジェクト標準は、JSのホームページで公開します（本年度当初準備でき次第公開を予定）。

今後は、業務で作成されたオブジェクトをライブラリに登録していくことで、ライブラリの充実を目指していきます。

JSは、下水道プラットフォームとして、BIM/CIM活用の推進を牽引していきます。

【別紙】

「下水道BIM/CIMオブジェクト標準の概要」

＜問い合わせ先＞

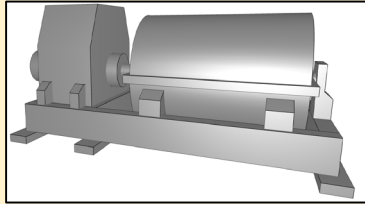
日本下水道事業団 DX 戦略部 富樫部長

建設DX課 及川課長

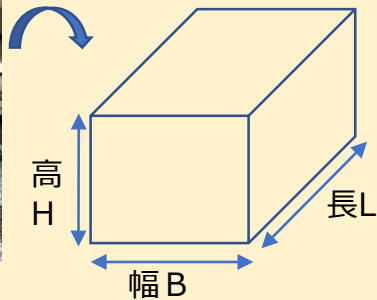
TEL : 03-6361-7837 E-mail : Oikawa@jswa.go.jp

- BIM/CIM活用の推進には、モデル化作業の効率化が必要だが、下水道の機器等の部材（オブジェクト）は、市販のBIM/CIMソフトに部材が実装されていないため、下水道特有の部材情報の整備が急務
- 下水道で標準的に使用する部材の形状や属性等の情報をライブラリに集約し、関係者間で共有するルールを「下水道BIM/CIMオブジェクト標準 第1版 令和6年3月」として作成
- R6年度から重点PJ（BIM/CIM活用）で試行を開始

BIM/CIM活用業務において、モデル化作業が簡素化されるため、業務効率化、品質向上に効果



【3次元オブジェクトの例】送風機



【形状情報の例】脱水機

下水道BIM/CIMライブラリ

「下水道BIM/CIMオブジェクト標準」に基づくオブジェクト

形状情報

3次元
オブジェクト

外観写真・寸法表
など

属性
情報

ソフト実装
オブジェクト



ライブラリから部材情報を
入手し3次元オブジェクト化

BIM/CIM活用

設計成果

実施設計業務

新たに作成された
情報をJSが
確認し登録

※形状情報などが蓄積されたライブラリから、設計会社等は効率的に情報を入手して利用、新たに業務で作成された情報は登録。